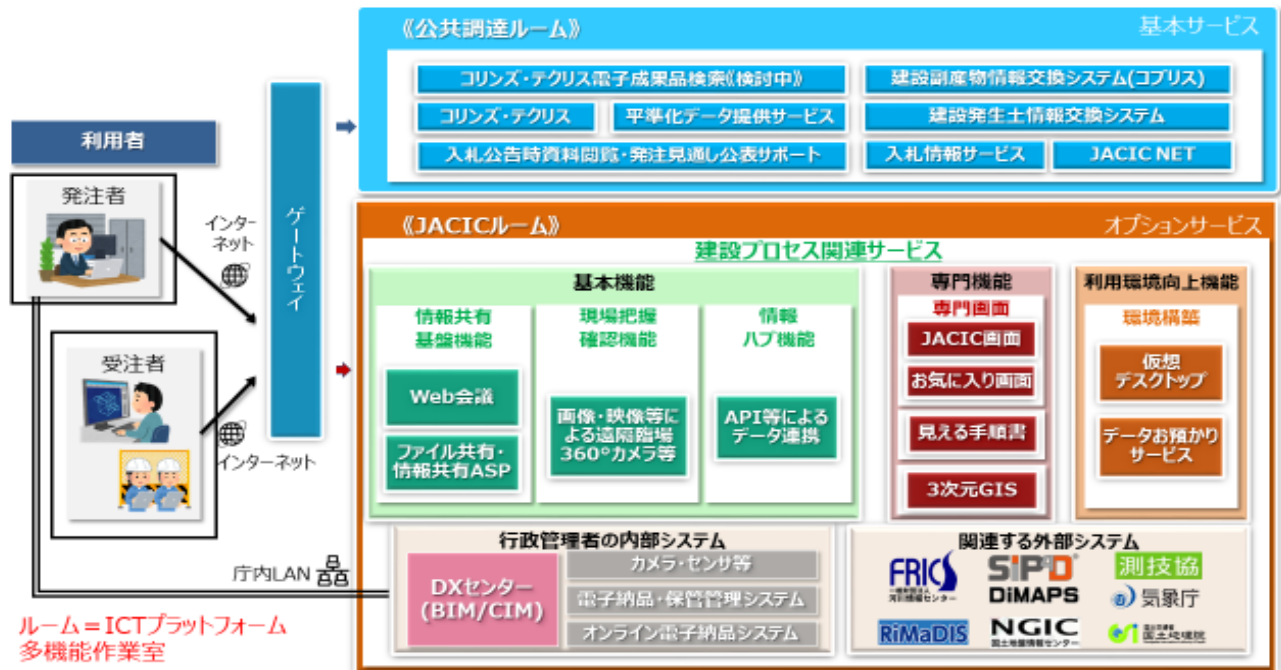


## 技術概要書（様式）

※別紙2

出展技術の分類	安全・防災 <b>インフラDX</b> 維持管理 環境 コスト 品質		
技術名称	JACICクラウド	担当部署	経営企画部
NETIS登録番号		担当者	塚本 一三
社名等	(一財)日本建設情報総合センター	電話番号	03-3584-2404
技術の概要	1. 技術開発の背景及び契機		
	国土交通省が推進するi-Constructionの本格的な推進に向け、3次元データ等の利活用が円滑に行える環境整備の要となるクラウドの構築を目指し、建設情報の活用による建設プロセスの効率化、高度化に取り組むこととした。		
	2. 技術の内容		
	クラウド利用により3Dモデルやデータの共有化を即時点に可能とする技術。 発注者や受注者など様々な関係者の参加及び様々なシステム、モデル、データベースの利用が可能となり、測量・調査、設計、施工、維持管理までの建設プロセスや発注、契約から電子納品、保管までの事務・契約等の公共調達プロセスにおいてサービスの提供を可能にする。		
	3. 技術の効果		
<b>新現場力の構築</b> 情報技術を活用することにより、担い手不足などによる低下してきた現場力の補完、回復、飛躍的向上をはかる。 ①JACICクラウドの全体像 認証・認可やセキュリティ等のためのゲートウェイ機能とデータ等の利活用のためのルーム機能やハブ機能を有するICTプラットフォームを提供し、様々なサービスの提供とシステム間の連携を可能にする。 ②コリンズ・テクリスによる建設情報の一元化 コリンズ・テクリスシステムと保管管理システム等との連携を図り、コリンズ・テクリスシステムの検索機能を拡張して、発注・契約からオンライン電子納品・保管・利活用まで一元的な建設情報の管理を実現する。 ③2023年度BIM/CIM問題 ー現場のDXの実現ー 協調領域として機能するJACICクラウド(ICTプラットフォーム)を用意し、行政管理者がBIM/CIMのモデルやデータを各段階一貫して継続的に利活用できるようにする。			
4. 技術の適用範囲			
①コリンズ・テクリスや建設副産物システム等におけるワンストップ化や手順の軽減 ②JACICクラウドを活用したサイバー空間上の会議室機能 ③3Dモデルやデータを活用した新しいサービスの提供 ④コリンズ・テクリスを活用した公共調達から成果品までの一元的な情報管理			
5. 活用実績			
・2021年淀川等防潮鉄扉閉鎖訓練時の専門画面活用 ・倉吉河川国道事務所 雪害対策時の専門画面活用			

6. 写真・図・表



JACICクラウドの基本構成イメージ

# JACICクラウドで現場のDXを加速します

専門画面と見える手順書で建設生産性の向上とマネジメント業務の高度化を実現

**建設生産性の向上**  
 マネジメントに必要な機能の集約・一元化による業務の効率化



**マネジメント業務の改革**  
 新機能によるマネジメント業務の高度化

迅速な意思決定と適正な行動を支援

JACICクラウド専門画面